

令和5年度第2回広島市廃棄物減量化・資源化等推進審議会 議事要旨

1 日時

令和5年11月30日（木） 午後2時～午後4時

2 場所

広島市役所本庁舎14階第7会議室

3 出席委員

伊藤 圭子（会長）、佐々木 緑（副会長）、加藤 和行、古森 公人、崎田 省吾、高田 義典、滝島 繁樹、鉄村 忠基、西村 千賀子、林 千秋、吉川 成美（以上11名）

4 次第

(1) 開会

(2) 諮問

(3) 議事

＜広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画関係＞

議題1 新たな広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定について

報告1 広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の令和4年度における目標達成状況等について

報告2 広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の行動計画に基づく施策の令和4年度の実施状況等について

＜食品ロス削減推進計画関係＞

議題2 食品ロス削減推進計画の改定方針について

報告3 食品ロス削減推進計画に基づく施策の令和4年度の実施状況等について

(4) 閉会

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴人の人数

0名

7 会議資料

〈会議関係〉

○ 令和5年度第2回広島市廃棄物減量化・資源化等推進審議会 配席表

○ 広島市廃棄物減量化・資源化等推進審議会 委員名簿

〈議事関係〉

○ （資料1）新たな広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定について

○ （資料2）広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の令和4年度における目標達成状況等について

○ （資料3）広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の行動計画に基づく施策の令和4年度実施状況等について

○ （資料4）食品ロス削減推進計画の改定方針について

○ （資料5）食品ロス削減推進計画に基づく施策の令和4年度実施状況等について

8 議事要旨

発言者	発言要旨
司会	<ul style="list-style-type: none"> これから、広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定及び食品ロス削減推進計画の改定について審議していただくに当たり、諮問書をお渡しする。
環境局長	【諮問書を読み上げ、会長に手渡す。】
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> 本日の議事は広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定に関する議題が1件、報告が2件、食品ロス削減推進計画の改定に関する議題が1件、報告が1件である。事務局から説明をお願いします。
環境政策課長	【（議題1）新たな広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定についてを説明】
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> 議題の説明について、御意見、御質問等があれば承りたい。
加藤委員	<ul style="list-style-type: none"> 日本では、使い捨ての歯ブラシがどのホテルに行っても置いてあり、連泊したらそのたびに置いてあるが、そういった国は国際的にみると少数派であり、ほとんどの国が使い捨てのものを置いていないようである。 日本もそういった取組を欧米並みにして、捨てるために作るようなものを排除して欲しいと思うが、広島が先駆けてそういった取組を行って、全国的に普及していくようにして欲しいと思う。
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> 使い捨ての歯ブラシのお話ということで、製品プラスチックのことに当たるかと思うが、資料にもプラスチックの資源循環の促進について記載しており、これに関連する法の趣旨は、まさにそういった製品プラスチックをリサイクルしていくものであり、現在検討を行っているところである。 また、3Rの取組としては、リデュースが優先的に行われるべきであるため、製品プラスチックを減らすという観点も踏まえながら計画の作成を進めていきたい。
林委員	<ul style="list-style-type: none"> 可燃ごみの分別について、中工場に運ばれる場合は大まかな分別でも問題なく、他の安佐南区などは細かく分けないといけないと聞いたが、市が作るごみの出し方の表は全て統一されているのか。 中区での行事の際に、そのようなことを言われた。
業務第一課 指導担当課長	<ul style="list-style-type: none"> 「家庭ごみの正しい出し方」のこのようだが、この裏面は各地区の収集日等が書いているため、地区によって異なっているが、表面の分別の部分は全市共通となっている。 そのため、市としてはそのような事実はなく、市内の分別は一律になっている。 参考情報にはなるが、町内会等での行事などで排出されるごみは、事業ごみになるので、その場合は可燃ごみ、プラスチックごみ、不燃ごみの3種類の分別になる。
加藤委員	<ul style="list-style-type: none"> 先ほどのご質問の回答について、事業ごみは3種で家庭ごみは8種と聞いたが、持っていく場所は同じだと思うが、搬入先で3種のを8種に分けるのか。
業務第一課 指導担当課長	<ul style="list-style-type: none"> まず、事業ごみは正確にいうと、4種あり資源ごみも含まれているが、事業者の排出した資源ごみについては、事業者が独自で民間の再生ルートに乗せてリサイクルしている。 事業者の自主努力にはなるが、事業者が分別をした上で、リサイクルできるものはリサイクルするということが前提となっているため、リサイクルに回せないものが市の事業ごみとして排出されている。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> 他にご質問はありませんか。 ないようでしたら、「新たな広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定について」皆様にお諮りします。 新たな広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画について、案のとおり作業を進め

発言者	発言要旨
	ることとし、案の作成に当たること異議はないか。
各委員	(異議なし)
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> 異議なしということですので、新たな広島市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画について、案のとおり進めることとし、本日、皆様から出された意見等を参考にしながら、案の作成に当たってください。 続いて事務局から報告について説明してください。
環境政策課長	【(報告1)広島市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の令和4年度における目標達成状況等、(報告2)広島市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の行動計画に基づく施策の令和4年度の実施状況等を説明】
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> 報告1及び報告2の説明について、御意見、御質問等があれば承りたい。
崎田委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料2のごみ排出量等については目標値があるが、資料3の施策については目標値のようなものを設定していないのか。
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> 計画の中で各施策の目標値は定めていないが、予算等を組む際に、ある程度の見込みを立てているということはある。
崎田委員	<ul style="list-style-type: none"> 新しい計画を立てるに当たって、現計画の評価が必要かと思うが、その場合に施策の実績だけ提示してそれに対して数字がどうなっているという風にしかやり方がないのか。 評価は別途する予定があるのか。
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの施策について目標値を設定して、各年度評価するといったことは難しいと思うが、新しい計画を作る際には、それぞれの施策について、大きな視点で評価・検証し、目標設定等をしたいと思う。
崎田委員	<ul style="list-style-type: none"> 議論を進めていく中で、今の計画の検証などが反映されればよいと思う。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> いくつかの取組が複合的に達成状況にあらわれてくるとは思うが、取組の評価も大切になってくると思う。
佐々木委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料2のごみの排出量については人口と正の相関があるので、表を出したときに人口の推移を目安にするためにも、人口の数値を入れたらいいのではないかと思う。
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> より良い資料となるように作成の際の参考にし、反映していきたい。
吉川委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料2の政令指定都市比較の事業ごみの割合をみると、川崎、横浜が少なくなっているが、その要因は把握しているか。
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの各都市の内訳を細かく分析した資料はなく、順位は相対的なものなので、分析が難しい部分があるが、全国における広島市の位置付けがイメージできるような参考資料として記載している。
吉川委員	<ul style="list-style-type: none"> 川崎市、横浜市、浜松市も工業地帯としては規模が大きいので、事業者としてどういう取組があるのか、民間企業と連携した取組をしているのかなど、良い取組については、広島市に取り込めたらよいと思う。
崎田委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料2の5埋立量の状況について、事業ごみの実績が令和元年度から令和2年度で10分の1ぐらいに減っているが、これは先ほど説明のあった新型コロナウイルスの影響と、廃プラスチックの受け入れを中止したことで減ったということで間違いはないか。
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に事業ごみの埋立量が大きく減少した理由としては、新型コロナウイルスの影響と、廃プラスチックの受け入れを停止したことで間違いありません。
崎田委員	<ul style="list-style-type: none"> 受け入れを中止したごみは、どうなったのか。

発言者	発言要旨
業務部長	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の事業ごみの埋立量約 17,000 トンの内訳は、不燃ごみが約 2,000 トン、それ以外のプラスチックごみが約 15,000 トンあり、そのプラスチックの内訳として、一般廃棄物として受け入れていたものが約 5,000 トン、産業廃棄物として受け入れていたものが約 10,000 トンであった。 通常一般廃棄物は市で処理し、産業廃棄物は民間で処理することになっているが、廃棄物処理法において産業廃棄物の区分ができた以降、民間でプラスチックごみを処理できる場所が少なかったため、市町村が産廃処理を行えるといった法の特例の規定により産廃プラを受け入れていたが、民間でプラスチックの処理やリサイクルがしっかりとできるようになったことなどにより、産廃プラの受け入れを中止した。 一方で一般廃棄物としてのプラスチックごみは、埋立地の延命やサーマルリサイクルの観点から、埋立から焼却に処理方法を変更したため、先ほどの産廃プラの受け入れの中止と合わせて埋立量が 10 分の 1 程度になったということである。
崎田委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料 2 の 2 減量目標の達成状況における事業ごみの目標が達成しているが、これは先ほどの説明の産プラスチック類の受け入れを中止したことが大きな要因という認識でよいか。 仮に産業廃棄物のプラスチック類の 10,000 トンが削減されなかった場合でも目標達成をしているのか。
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> この目標値の設定は、市で受け入れていた産プラスチック類が産業廃棄物に回すことを加味した目標設定となっているため、その前提で目標を達成している状況である。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> 他にご質問はありませんか。 続いて<食品ロス削減推進計画関係>の議事に入ります。事務局から議題 2 の説明をしてください。
環境政策課長	【(議題 2) 食品ロス削減推進計画の改定方針についてを説明】
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> 議題 2 の説明について、御意見、御質問等があれば承りたい。 質問がないようなので、食品ロス削減推進計画の改定方針について案のとおり作業を進めることに異議はないか。
各委員	(異議なし)
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> 異議なしということですので、案のとおり進めることとします。 続いて事務局から報告 3 について説明してください。
環境政策課長	【(報告 3) 食品ロス削減推進計画に基づく施策の令和 4 年度の実施状況等についてを説明】
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> 報告 3 の説明について、御意見、御質問等があれば承りたい。
滝島委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料 5 の 1 ページ左側の下に食品ロス量の推計値があるが、これは資料 2 に出ている可燃ごみの組成分析調査の結果の食品ロス量の割合と可燃ごみの総量をかけたものか。
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> おっしゃる通りです。
滝島委員	<ul style="list-style-type: none"> 令和 4 年度から年 2 回組成分析調査を実施しているということだが、事業系の食品ロスに関しては非常にばらつきが大きく、トレンドが把握できないように思うが、事業系ごみについては事業者にご協力をいただいてトレンドが見えるような集計の仕方をご検討いただけたらと思う。

環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ トrendを把握するために回数を増やしたと同時に、事業ごみの組成分析調査に際して、業種が偏らないように様々な業種から均等にごみを採取できるようにやり方を工夫している。 ・ 令和4年度、令和5年度の傾向や全国的な傾向などを検証しながら、新しい計画の内容について検討したい。
崎田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食べ残しゼロ推進協力店（現在は食品ロス削減協力店へ統合）制度があり、ステッカーなどを掲示しているということだと思うが、それ以外に何か協力をしてもらっているのか。 ・ 啓発活動のみなのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主に啓発活動に御協力をいただいているが、今年度は啓発活動以外の新たな取組を実施する予定である。
伊藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ この他、御意見・御質問等ないようなので、本日予定していた議事についてはこれで終了する。